

花火大会



窓越しの観賞となりましたが
綺麗な花火でした！
疫病退散の願いが届きますように



R2.10.6(火)

生活介護班③班 食事会&お楽しみ会

里だより

No.346

令和2年11月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



十一月号もくじ

(ページ)

副施設長より	1
サビ管より	2
主任より	3
職員より・事務局より	
サービス向上委員会より	5
行事報告	6
行事予定	
ありがとうございました	7



副施設長より



今年の冬は随分寒くなるようです。十月に入ってから、朝晩は肌寒い日が続き、利用者さんの洋服も秋物が活躍しています。風邪の予防も必要ですが、コロナの収束がつかないまま、インフルエンザの季節を迎えようとしています。

当事業所では、十一月九日に予防接種を予定していますので、健康面での冬支度を進めていきたいと思えます。

昨年の今頃は、新型コロナウイルスのことなど知る由もなく、インフルエンザでの感染対策が主でした。今年度は、新型コロナウイルス対策を、手探りの中バタバタしながら進めてきました。その為、利用者さんとご家族には、一番ご迷惑をおかけしたのも事実です。ご家庭が大変な中、ご協力いただき誠にありがとうございます。させていただきます。

当事業所がそうであるように、ご家庭でも他事業所でも、仕事をはじめとする生活様式が一変された方も多かったのではないのでしょうか。施設内でも、対面する場合はパーテーションを用いたり、求人説明をオンラインにしたりと様変わりしました。まだまだ慣れないためか、オンラインでの研修や話し合いはぎこちないものを感じます。やはり、空気感・臨場感がないことからなのではないでしょうか。この空気感などを独特な表現で表すならば、「におい」みたいなものでしょうか。（本当に匂って臭いとかではなくて（笑））。時代についていくのがやっとの私は、いつ慣れることやらと困惑しています。

各種学校からの実習もなくなりました。机上での勉強では味わ

えない、現場での緊張感や空気感を卒業前に肌で感じる事が出来ないのは、勿体ないことだと思っています。また、実習生が来ること、受け入れる事業所にとっては、スタッフの勉強にもなります。安全な対策を構築して、少しでも早く元の状態に戻りたいものです。

研修といえば、昨年度末まで施設協会の研修倫理委員会専門員として研修企画をお手伝いさせていただきました。共に企画をした他施設の専門員の方には大変お世話になりました。どれほどお役に立てたかは分かりませんが、貴重な経験をさせていただきました。

研修は、協会会員と利用者ご家族向けに、人権研修会・職員研修会・利用者セミナー・施設職員・家族合同研修会を企画しますが、他施設から派遣されている専門員の利用者さんへの想いや、支援現場に必要な研修を提供したいという熱量に刺激を受けます。

研修の内容は、利用者支援の事例発表や障がいをお持ちの方の体験談、様々なアイデアから生まれた斬新な企画まで多岐にわたります。著名な先生の講演や考えを身近で聞いたのは専門員の役得でした。全て印象に残る研修でしたが、中でも障がいをお持ちの方やそのご家族の話は、その想いがダイレクトに伝わってくるものでしたので、少しだけ紹介させていただければと思います。

学習障害の一種で、読み書きが困難なディスレクシアをお持ちの南雲明彦さんの講演で、私たちは仕事柄、障がいをお持ちの方を「当事者」と表現しがちですが、本人からすると「当事者とい

うつもりはなく、二十四時間、障がいをもって生きているわけではない。」と話されました。研修会の開催要綱に「当事者」と表現したことをお詫びすると、「それは全然かまいません。当事者という言葉で、自分もこのような障がいがあることを伝えられる。ただ、それを分かっていたら良いのです。」と答えられました。自分自身をすべて受け入れ、進むべき道をしつかり見据えられている姿勢に感服しました。

もう一つ、ダウン症をお持ちで、書家として有名な金澤翔子さんと、そのお母様に講演いただいた時のこと。お母様より、出生時の想いや苦勞、育てるときの決意を話していただいた後に、翔子さんに揮毫を披露していただきました。笑顔で登壇された翔子さんにつられて、参加者も笑みがこぼれましたが、大きな筆を持たれた時のたたずまいに、一瞬にして三百人近い会場に緊張が走りました。筆を動かし始めると、その緊張はピークに。筆さばきに誰もが固唾を呑みます。書き終えられた力強い書が掲げられると、張り詰めた空気が、会場全体のどよめきと拍手、感動に変わりました。才能と一言で片付けるにはあまりあるものです。

どちらの研修も、原点に立ち返って支援者とは何かを考えさせられる講演でした。私たちに驕りはないか。良かれと思つてやっていることが自己中心的になっていないか。「その立場に立つて考える」「同じ目線でものを見てみる努力をすること」を痛感させられました。

まだまだ、他にもご紹介したいものは沢山あります。これらは施設関係者向けの研修ですが、その先には、やはり利用者さんがいらっしやるということ。スタッフが身につけたものを、現場で活かせることが何より望ましいことです。

当施設に目を向けても、虐待防止や意思決定支援など様々な研修を行います。よくよく考えると、研修内容はご家族や利用者さんにも是非知っていただきたい、共に考えてほしいものばかりです。利用者さんを中心としたそれを取り巻く「人」が同じ想いで、共に学べる間柄でいたいと感じています。そのような空気を共感・共有できるように模索していきます。

副施設長 松永一博

サビ管より



コロナ禍の収束は未だ見えず、マスクの着用は当たり前で、至る所でソーシャルディスタンスが取り入れられ、密を避けた新しい生活様式が定着しつつあるかのように感じます。当事業所におきましても、県内及び地域の状況と県のリスクレベルに留意しながら、感染しない、持ち込まない予防対策を継続しているところです。

仮に、事業所内で感染者が確認された場合、多くはクラスターとなり、爆発的に拡大することが懸念されるのは当然かと思えます。そのような事態を避けようと、リスク管理に努めておりますが、その影響は大きく、行事の中止や縮小、外泊や外出の制限、日課の中でも利用者が密にならないような対策等々、ご利用者の生活に直結しており、いろんな事ができなくなるようなマイナスイメージとなつてしまっています。

この窮屈な状況を打開できないかと工夫を凝らし、出来ること探しを前向きに進めているところではあります。自身の考えの中で、これまでのイメージや経験が拭えずに、支障になっていることもあるように思います。

そのような中、定期的に頂戴しております他事業所様からの広報誌を拝見すると、なるほどと思える気づきが多く、非常に参考になっております。何より写真に写るご利用者の笑顔から、その様子が目に浮かび楽しかった、嬉しかったというメッセージが感じ取れます。しようとするこの規模や人数とか派手な感じだけではなく、そこにいる方がリラックスでき、和やかな雰囲気の中で時には失敗も一緒になって楽しめる、そんなひと時を作れることが一番良いのかもしれない。

新規感染者が何人、クラスターが発生した等々、コロナ関連の報道を目にしない日はありませんが、いつしか気にしなくていい時が来るのではないかと期待は残しつつ、事業所内の設備や環境的な予防策だけではなく、行事や外出、日課に関することも新しいスタイルに作り変えていくことも考えていかなければならないと思います。

コロナ対策に始まり、コロナ対策で終わる一年になりそうです。が、コロナによって何もできなかった一年ではなく、コロナの影響によって得ることができたと言える一年にしていきたいと思えます。

サービス管理責任者 今田 有哉



主任より

Yさんへ

Yさんはいつもシャツとベストを着て、眼鏡をかけて、とても気真面目そうで、無頓着で関心がなく愛想もないそんな印象の方でした。

ある日、夏祭りに向けての練習が始まります。音楽がかかると小走りに踊りの渦中に入ってきて、周りの方と列を組む等もお構いなし、延々と踊り始められました。満面の笑みで、櫓の上にかかるチャンスがあれば、すぐに出て来られ、出るチャンスがなくても、隅っこでも、どこでも音頭を踊り続けられていました。

日課の中でカラオケがありました。ずっと歌詞をみて、自分の順番になり歌い始めると、もう止まりませんでした。誰かの番であるうが、流れる歌はマイクなしでもその歌を聴いて、歌い続けました。目立ちたいとか、独り占めしたいとかは微塵も感じられず、ただただ好きなことへの楽しみ方は抜群でした。誰よりも歌への情熱は強く、歌番組も欠かさず見られていました。

日常では暑がりなのか、団扇を仰ぎ、ハンドタオルでおでこを拭きながら、時には眼鏡をはずして丁寧に。部屋でいつも音楽カセットを聴いたり、歌番組をみたり、歌詞本を読んだり、歌詞を書き写したり、趣味や自己啓発に忙しくされていました。ユーモアもあって扇風機の風を浴びて、声が震えて聴くのを楽しむ様子もありました。小さなバッグにいつもきちんとハンカチとティッシュを入れて管理されていました。ついでに「まごの手」も持つ



て、何気ないときに背中を掻きかきされていました。

コーヒータイム。マグカップにコーヒー粉を入れて、ポットからお湯を注いで、「あ〜」と大きくひと息ついて、何ともおいしいうに。沢山の美味しい飲み物はあるのに、コーヒーには目がありませんでした。

見た目の印象とは異なり何事も関心をもって、一所懸命に参加し取り組まれ、心から楽しまれて、一人の時間も充実し、ときにはほっと一息もして、思えば誰もがうらやむような充実した時を過ごされ、人生の歩み方、楽しみ方をよくご存じの方だったな：と思います。認知症発症後でも、本人らしい笑顔は失わず、とぼけた感じで「は？」と言つて、コーヒーは勿論ジュースも堪能されていきました。

それが九月三十日、突然の別れを迎えました。本当に驚いて：利用者さんも職員もただただ慌てて、別れの準備をして。でも、皆で涙して、声をかけて、昔を振り返ってYさんとお別れするこゝとが出来ました。あの日から一ヶ月が過ぎようとしています。が、「利用者も職員も変わりなく元気にしていますよ！沢山の笑いと楽しむことをありがとうございました〜！」

主任支援員 池田 亜紀

訃報

平成三年よりご利用いただきおりました佐々木やすよ様が、去る九月三十日に永眠されました。享年七十一歳でした。ご冥福をお祈りいたします。



「つくしの里内ベビーブーム」

昨年度から現在まで職員のベビーブームが到来しています。職員も皆の子どもの名前を覚えきれず、「〇〇さんの子どもの名前は何だったっけ？」とよく確認し合っています。子どもが生まれた職員も嬉しそうに親バカ話をしてくれます。

しかし、職員の中には産休や育休を取る事、育休復帰後は変則勤務が困難な為、その分を担ってくれる他の職員に申し訳なく感じている人もいます。出産は嬉しい事、お互い様という気持ちで、皆でフォローしていきたいと思えます。

子を持つと、仕事に対する姿勢も変わると感じます。私がそうでした。なるべく早く帰宅し、育児をしないと、その為に効率良く仕事をしないと、となりました。また、利用者支援も柔らかくなったように感じます。

私が育児を始めて間もない頃、よく感じた事があります。「子を持つて知る親の恩」。親のありがたみや苦勞を感じた次第でした。もっと親孝行しないと、と子どもを見て思います。

少し私の担当利用者を紹介します。たばこが大好きなFさんです。六十五歳の笑顔がとてもチャーミングな方です。B型事業所に通われ、毎日お仕事を頑張っています。真面目でとても素直なFさんですが、少しジュースの量を減らしてもらえると：とよく話をします。好きな物を制限したくありませんが、持病もあるので、適度な量を志してもらえると助かります。私もビールを適度にしなくてはと毎日思っています。お互い頑張りましょう。

主任支援員 和田 貴志

職員より

コロナウイルス対策で1・2班合同で活動することが多かった9月でした。1班の活動は理解していますが、2班の利用者さんとはあまり関わる事がなかったので、活動に関して戸惑う事もありました。しかし、利用者さんから「牛乳パックしようか」等の話をして頂き、スムーズに取り組む事が出来ました。コロナウイルス対策で活動を縮小し、悪い事の方が多いですが、他班の利用者さんと関わる時間が増えたことは良かったと少し前向きに考えたいなと思いました。
(支援員 村上マ)

昨年より産休と育休を頂き、5月に復帰いたしました。1年振りに4班の利用者さんと活動が出来、毎日楽しく過ごしています。只今4班では、冬に向けて学習室の装飾作りを頑張っています。折り紙の色分けが得意な方、折るのが得意な方、それぞれの特技を生かし、分担して取り組んでいます。今は、部屋中をトンボが飛んでおりますが、11月からは、雪の結晶で飾りたいと思います。出来上がりを楽しみに利用者さんも励んでいる次第です。
(支援員 錦戸)

事務局より

10月頃より少し寒くなり秋らしくなってきました。「実りの秋」や「食欲の秋」とよく聞きます。個人的な話になりますが、その中でも特に「読書の秋」を今年は実行したいなと思っています。学生時代私は本を読むのが得意ではありませんでしたが、このステイホーム期間に、小説や漫画、エッセイ本を読んでみました。学生時代とは違い、内容がスツと入ってきて、今までの物事の捉え方や考え方が変わったり自分を見つめなおす事もできました。大げさに言ってしまうと、人生観が変わる程でなんだか新しい発見でした。読書好きな友人におすすめされた本もあるので、これから読むのがとても楽しみです。つくしの里でも2週間に1回、大津図書館より移動図書館が来て利用者さんはそれぞれ興味のある本を手にとり楽しんでいるようです。本を借りて1週間ほど経つと、「次の本屋さんはまだ？いつですか??」と事務局まで聞きにきてくださる方もいます。今度私も利用者さんと一緒に移動図書館を見学してみようと思います。
(事務員 本田)

サービス向上委員会より

■ 虐待防止【主任支援員 小嶋 支援員 甲斐・村上カ】

実習生やボランティア等の第三者へのアンケートの実施と、利用者さんから普段の生活で困っている事等の聞き取りを行い、支援を見直す機会に繋げています。今年度は施設内研修に利用者さんにも参加して頂き、改めて虐待防止に関する約束を立てました。

- ・私達は皆さんが快適に過ごせる様、環境を整え一人ひとりのプライバシーを守ります。
- ・私達は皆さんの気持ちや希望を大切にし、一人ひとりに合った支援を行います。
- ・私達は皆さんと笑顔で優しく接し、わかりやすい表現で言葉を掛け合います。

3つの約束事ですが、大切な事が詰まった内容になっています。全員が守る事が出来るよう、活動を遂行していきます。

行事報告

※ 9/21 (月) ~10/20 (火) の実施分について報告いたします

★ 花火大会【9月29日(火) つくしの里】

例年通りですと、手持ち花火等で利用者さん自身にも花火を楽しんで頂いておりましたが、コロナウイルス感染予防対策の観点から、今年度は中庭で職員にて花火を実施し、利用者さんには窓越しに観賞していただきました。手持ち花火を工夫して噴射したり、噴射花火や回転花火を行いました。実際にご自身で花火が出来ませんでした、観賞だけでも「楽しかった」と言ってくれる利用者さんもおられました。

今後もコロナに負けず、工夫しながら利用者さんに楽しんでもらえる内容を考えていきたいと思えます。
(主任支援員 平田)



★ 内定式【10月1日(木) つくしの里】

コロナ禍ではありますが、令和3年度入職予定の学生さんへ内定式を行いました。ソーシャルディスタンスを存分にはかり、全員がマスク着用という新しい生活様式での内定式でした。例年だと、式の後に親睦を兼ねて食事会を開いていましたが、今の状況では難しいので、弁当と紅白饅頭をお渡ししました。

残りの学生生活をしっかり楽しんで頂き、来春には一緒に働けることを職員一同楽しみにしています。
(主任事務員 高本)



★ 生活介護班③班食事会【10月6日(火) つくしの里】

本来なら施設外に出て、3班らしい外出をしたかったのですが、新型コロナウイルスの予防として、外に出る事は諦め、施設内で食事会とお楽しみ会を行いました。

食事会では、皆さんもご存じとは思いますが大津町にある、あの美味しい和牛焼肉 LIEBE さんにお弁当を注文し、食べました。お肉はとっても柔らかくて、美味しくて、食べやすかったです。食べた事がない方は1度食べられてみて下さい。利用者さんも笑顔で「美味しい」と言いながら食べられていましたよ。

お楽しみ会では、お菓子をゲットする為に、施設内で職員探しゲームや的当て、ヨーヨー釣りを行いました。皆さん楽しまれていましたので、頑張って準備した甲斐がありました。新型コロナウイルスの影響で中々外に出る事が出来ない利用者さんの為にも、今後も楽しい企画を考えて取り組んでいけたらと思えます。
(支援員 甲斐)

★ 複合検診【10月13日（火）・20日（火）大津町子育て・健診センター】

新型コロナウイルスのこともあり、今年度の検診はどうしようかと迷いましたが、受診先でも対策を行っていることを確認し、事前の検温とマスク着用で受診してきました。内容は、便潜血・腹部超音波検査・骨粗しょう症・乳がん検診です。定期の健康診断ではカバーできない項目のため、対象の方には受けてもらっています。結果は、そろい次第お知らせしたいと思います。
(看護師 松村)

行事予定



☆ 生活介護班⑤班食事会（つくしの里）

期 日：11月5日（木）

内 容：お弁当を注文してみなさんで美味しく食べたいと思います。

☆ インフルエンザ予防接種・利用者健診（つくしの里）

期 日：11月9日（月）

内 容：2回目の健康診断と、インフルエンザの予防接種で冬に備えます。

☆ 面談・通帳確認（つくしの里）

期 日：11月9日（月）～11月21日（土）

内 容：支援計画の中間報告に係る面談をさせていただきます。

日程については別紙文書をご確認ください。

☆ 生活介護班②班食事会（つくしの里）

期 日：11月17日（火）

内 容：豪華なお弁当を注文しています。みなさんで美味しく食べたいと思います。

☆ やさしさいっぱいコンサート

例年、11月に保護者会主催で開催しておりました「やさしさいっぱいコンサート」は新型コロナウイルスの影響により中止させていただきます。ご了承ください。

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和二年九月二十一日～

令和二年十月二十日です

【ショートステイ】

日中一時支援事業のご利用

（六名 延べ 一十三日）

※熊本県リスクレベル三以上の期間は受け入れ中止。

【寄付・寄贈】

・後藤 弘子 様 ・井本 紀久雄 様

・江頭 勝 様 ・佐々木 須美子 様

・光永 順子 様 ・佐藤 みほ子 様

・山口 静美 様 ・米田 政輝 様

・古庄 政敏 様 ・馬場区 様

・井 慎一郎 様

・つくしの里保護者会 様

・K・タナカトレーディング 様

・長野歯科 様

【ボランティア】

・村里 和洋 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

